

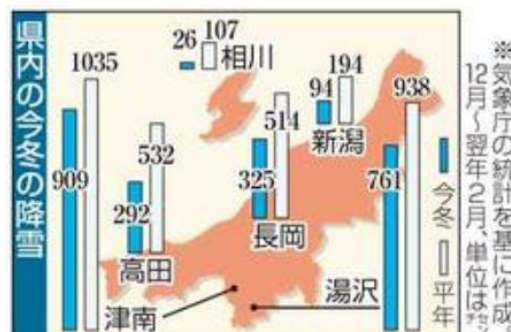
会報第28号発刊に寄せて



会長 N/S

新津ハイキングクラブ活動の集約である「2020年（会報第28号）山行記録」を皆さんのお手元にお届けできることを喜びたいと思います。役員ならびに会員の皆さんに感謝いたします。

2019年県内の冬は降水量が少なかった。これは南米ペルー沖の海面水温が上昇する「エルニーニョ現象」が影響したと見られている。4月2日の月例ハイキングでは上空に強い寒気が流れ込んだ影響で冷え込み、冬に逆戻りし県内各地で雪が降った。また、6月～8月の夏期3ヶ月は雨日が多く5山行と浅間山噴火で2山行が中止となった。また連日の猛暑が続き過酷な夏でした。10月のスーパー台風19号は、熱帯の海面水温が30℃以上と高温、また日本近海で平年より2℃高く、内陸まで大雨となった。



仏アルプスのシャモニーのメール・ド・グラス氷河の1940年代と2003年

このまま地球温暖化が続けば、北アルプスに生息するニホンライチョウが、今世紀末に絶滅する恐れがあると長野県環境保全研究所が発表しました。また、現状、北極圏でトナカイ約200頭が餌を摂れず餓死。ノルウェー北極研究所が7月30日公表し、この異常な大量死を引き起こしたのは気候変動だと指摘しています。氷河の写真でも見て取れます。更にスウェーデンの女子高校生が運動を起し国連での「気候行動サミット」の会合が大きく報じられました。現在、日本は二酸化炭素排出量削減対策が東日本大震災以降遅れをとっています。このように自然界では変調をきたしています。一人ひとりがこの難題を考えてみましょう。

日本の高齢化と核家族化が進み、クラブの平均年齢は70.3歳（1月10日時点）となりました。みんな元気です♪♪。それに伴います地域コミュニティの重要な役割を担っているクラブです。山に登りながら相互の交流が行われ、また健康を維持し日常生活に活力を与えているクラブとなっています。また、体力の維持のため、月例の参加、菩提寺山など里山でのトレッキングをして余力ある登山をしたいものです。

最後にこの一年間の山行を無事に実施できたことを皆さんと喜びたいと思います。